



## キーワードは「アップデート」！

所長 須崎 智志



### 1 県教育委員会教育長から学ぶ

県教育局において、高橋広樹教育長へ事業等を説明する際、その目的について「以前からやっているから」は禁句である。本来、様々な学習活動には根拠や明確な目的があり、プロセスを大事にしながらも効果についてしっかり検証することが重要だということ。例えば、学校行事等の要項に目的は記載しているが、以前からそのままにしており、時代や状況にそぐわないまま、実施している場合がある。目的が曖昧なもの、よくわからないが昔から引き継がれてきたもの、効果が薄いのに何となくやっているものは、そのままにしていけないということだ。

### 2 教育事務所のキーワード

今年の村山教育事務所のキーワードは「アップデート」。その意味は、PCのバージョンアップ等、様々な解釈はあるが、新しい知識の吸収やスキルアップを図り、時代に最適な自分や環境をつくり続けていくこと。「チェンジ」ではなく、元々あるものも大切にしながら、そこからの「スキルアップ」、更新ということである。ただし、何でもかんでもアップデートするものでもなく、無理なく、できる範囲で、少しずつアップデートしていくことが大切（考え方、見方、対応の仕方、ポイントをおさえたいさつ・説明、聴く姿勢、コスパ、タイパ、机上の整理…）。

例えば、学力向上や確かな学力。わかる授業、ワクワクする授業、対話重視の授業、個別最適な学び、協働的な学び等、言葉は乱立するが、そのような授業をすることが目的になっていないか。様々な方法を手段として、どうすれば、子ども達一人一人に確かな学力をつけることができるのか、根本から考えることが重要であり、先輩であっても、後輩であっても、教員以外の方であっても、様々な人からのアドバイスや意見を素直に聴き、またマネながら、「子ども達のコミュニケーション能力の向上も見据えた、本当に力のつく授業」を展開していく必要がある。

教育の本質である「子ども達に生きる力をつけること」を中心に据えながら、学力や体力の向上、いじめ・不登校対応、ICTの積極的活用、特別支援教育の充実、働き方改革、地域との協働等、様々な課題に「新たな視点」で取り組まなければならない。考え方を広げたり、教育効果の高い方法を常に周囲と考えたり、実践していくことがアップデートだと考える。

そのために村山教育事務所は、各学校を全力でサポートしていく。

### 3 信頼関係の構築、そして意識改革

学力向上であれ、いじめ・不登校対応であれ、一番重要なことは、子ども達や保護者と学校、とりわけ担任との信頼関係。では、具体的にどうすれば信頼関係が築けるのか、学校の状況を分析し、職員全員で真剣に考え共有すること、これもアップデート。

このような中、キーポイントとなるのが教職員の心身の健康。やらなければならないことはやらなければならないが、「限られた時間の中で最大限の効果を発揮する」職員集団であってほしい。校長を先頭に、取捨選択等のバランス感覚を磨きながら、仕事に対する意識を全体で改革していくことも当然アップデート。元気な教員が学校を活性化させる。

今年度、「むらやま」の全ての子ども達や教職員が少しずつでもアップデートし、笑顔で、充実感を持って学校生活を送ってほしいと切に願っている。

## 指導課の重点

誰もが安心して学べる魅力ある学校

### 自立した学習者の育成



確かな学力の育成  
知識及び技能  
思考力、判断力、表現力等  
学びに向かう力、人間性等



#### 1 誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する

一人一人の子どもが、自己理解に基づき、自分のよさや可能性を発揮しながら、お互いを認め合い、安心して授業や学校生活を送れるような風土を、教職員の支援の下で、子ども自身がつくり上げられるようにする。

#### 2 「自立した学習者」を育成する

予測困難な社会を生きていく上で、自ら学びを調整する力や粘り強さを育て、生涯を通じて、主体的に考え、他者と協働しながら納得解を導き出すことができるようにする。

#### 3 一人一人の子どもを主語にする教育活動を推進する

一人一人の子どもが自ら考え、選択し、決定する体験を重ね、人の役に立ったり、大切にされていると実感したりする中で、共感的な人間関係を育むことができるような学習指導と生徒指導が一体化した授業づくりを行う。

#### 4 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の観点から授業改善を推進する

子どもの成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援する。子どもが自らの学習状況を把握し、学習課題を決定したり、学習方法を選択したりできるように促していく。

#### 5 子ども観・教育観を転換し、幼保小中で子どもの育ちを共有する

幼児期の「環境を通して行う教育」に学び、子どもの育ちが連続するように支援する。

#### 6 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する

学校と社会が、教育課程を介して、子ども達の育成を目指す資質・能力を共有する。

☆村山教育事務所指導課リーフレット  
☆幼小リーフレット「つなぐ」  
☆第4次山形県特別支援教育推進プラン  
☆授業改善チェックシート  
(4月下旬頃アップロード予定)



【関連資料】

## 社会教育課の重点

テーマ

### 未来をひらく「人づくり」から「地域をつくる人」へ

#### 1 豊かな心と健やかな体を育成する

- 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進
  - やまがた子育て講座・幼児共育ふれあい広場
  - 家庭教育支援フォーラム
  - 「やまがた子育て5か条」リーフレットの活用 等
- 豊かな心の育成（多様な子どもの読書活動の推進）
  - 子どもの読書活動推進研修会
  - 子どもの読書活動推進講座 等



#### 2 郷土に誇りを持ち、

地域社会の担い手となる心を育成する

- 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進
  - 郷土を知る情報ポータルサイト「ふるさとやまがた発見ナビ」
  - 体験プログラム（モデル事業）
  - 自作視聴覚教材コンクール 等
- 山形の宝の保存活用・継承（子ども伝承活動「ふるさと塾」の推進活動）
  - 出前講座・指導者研修会
  - ふるさと塾アーカイブス 等
- 青少年の地域力の育成・地域活動の促進
  - 地域青少年ボランティア活動の推進（「MY ボランティア」推進会議・交流会）
  - 未来の参画者養成（中学生セミナー）
  - ボランティア出前講座 等



#### 3 活力あるコミュニティ形成に向け、

地域の教育力を高める

- 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
  - 地域学校協働本部（R5：13市町83本部）  
・研修会 ・養成講座 ・出前講座
  - 放課後子ども教室（R5：全市町60箇所）  
・指導者研修会
- 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実
  - 村山地区社会教育推進協議会関連事業
  - 社会教育主事有資格教員等研修会 等

#### 4 地域に活力を与える文化とスポーツを推進する

- 県民に元気と感動を与えるスポーツの推進
  - 生涯スポーツの推進
  - 広域スポーツセンターの充実
  - 部活動改革 等



山形県ホームページ  
村山教育事務所 社会教育課

